

計画の実現にあたっては、行政の個々の事業内容だけでは実現できません。行政はもちろんですが、市民や関係団体・機関、企業などが常に意識を共有し、それぞれの役割をもって、

みんなが力を合わせて協働して推進していく必要があります。そのため、以下のように推進体制を整備し、計画の実現に取り組むこととされています。

行政の役割

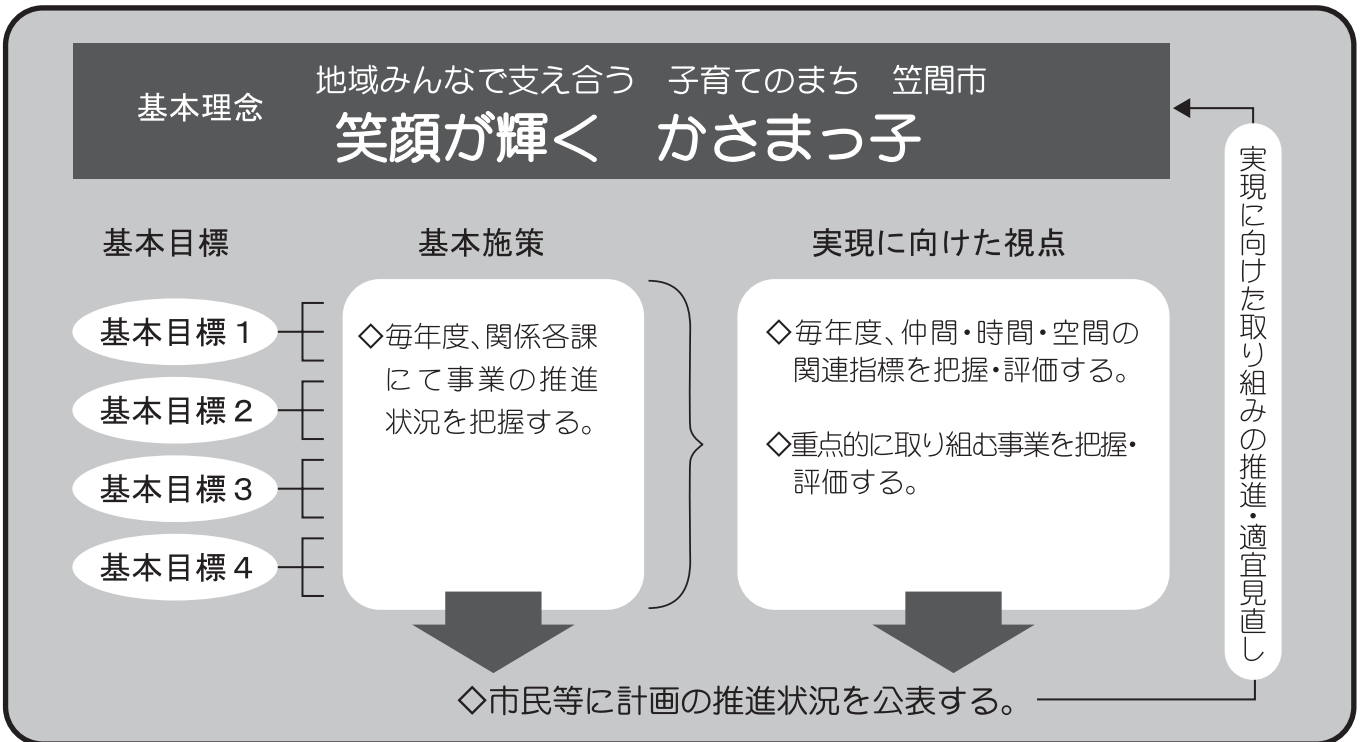
次世代育成支援対策の取り組み状況について、市民に周知・啓発に努めるとともに、国や県、地域団体や家庭等と連携・協力を図りながら、実施主体として計画を推進します。

地域の役割

子どもの見守りを行うとともに子どもや子育て家庭を対象とした事業に積極的に関わりをもち、ボランティア活動、NPO活動などへの参加の拡大を図っていきます。

家庭の役割

子育ての基本は家庭であるとの基本認識のもとに、子どもをひとりの人格をもった人間として尊重し、しつけ、子育てを男女が協働して行います。



笠間市次世代育成支援行動計画
かさまっ子未来プラン
『後期行動計画（概要版）』

発行・編集／笠間市福祉部子ども福祉課
〒309-1792
茨城県笠間市中央三丁目2番1号
電話：0296-77-1101(代表)
発行日／平成22年2月

この印刷物は環境にやさしい大豆油インクと再生紙を使用しています。